

平成20年度 京都大学大学院薬学研究科 修士課程学生募集要項

1. 募集人員

創薬科学専攻
生命薬科学専攻
医療薬科学専攻
医薬創成情報科学専攻
統合薬学フロンティア教育センター
寄附講座

86名（臨床薬学コース募集人員5名を含む）

2. 募集専攻及び分野

専攻	講座	分野	配属人員※	
創薬科学	薬品創製化学	薬品合成化学	5	
		薬品分子化学	4	
		薬品資源学	2	
	薬品機能統御学	薬品機能解析学	5	
		構造生物薬学	3	
	薬品製剤設計学	製剤機能解析学	4	
	精密有機合成化学	精密有機合成化学	5	
	生命薬科学	生体分子薬学	生体分子認識学	5
			分子微生物学	2
		生体機能薬学	生体機能解析学	5（臨床薬学コース1名を含む）
遺伝子薬学			5	
生体情報薬学		生体情報制御学	4	
生体機能化学	生体機能化学	5		
医療薬科学	薬品動態医療薬学	薬品動態制御学	5（臨床薬学コース1名を含む）	
		薬品作用解析学	5（臨床薬学コース1名を含む）	
	病態機能解析学	病態機能分析学	5（臨床薬学コース1名を含む）	
		病態情報薬学	5（臨床薬学コース1名を含む）	
	医療薬剤学	医療薬剤学	5（臨床薬学コース1名を含む）	
	医薬創成情報科学	医薬創成情報科学	薬理ゲノミクス	5
ケモゲノミクス			5	

	システムバイオロジー	5
	システムケモセラピー(制御分子学)	5
	システムケモセラピー(創薬計算化学)	3
	統合ゲノミクス	2
	分子設計情報	3
統合薬学フロンティア教育センター	統合薬学教育開発	1
	臨床薬学教育開拓	1 (臨床薬学コース1名を含む)
寄附講座	*創薬神経科学	2
	**ナノバイオ医薬創成科学	2

※「配属人員」欄に記載された数字は、その分野に配属できる最大の人数を示す。

*平成15年4月より平成22年3月まで設置予定

**平成19年5月より平成24年4月まで設置予定

平成20年度募集しない分野：薬品有機製造学、ゲノム創薬科学、臨床薬学教育、生理活性制御学、神経機能制御学、先端薬学教育開拓、医薬品理論設計学、生命知識システム学

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は平成20年3月末をもって該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

なお、出願資格(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行うので、必要な書類を本研究科教務掛に請求し、平成19年7月2日(月)午後5時までに薬学研究科教務掛に提出すること。

4. 出願手続等

(1) 出願書類 (*印はこの募集要項に添付の所定用紙)

* (ア) 入学願書 * (イ) 写真票・受験票	必要事項を本人が明記の上、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、カラーも可)3枚を各票の所定の枠内に貼付すること。
(ウ) 成績証明書	出身大学(学部)長が作成し厳封したもの。 (本学薬学部在学学生及び卒業生は不要)
(エ) 卒業見込証明書 または卒業証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。 (本学薬学部在学学生及び卒業生は不要)
* (オ) 入学検定料振込金 受付証明書貼付台紙	入学検定料 30,000円 振込期間 平成19年7月17日(火)～26日(木) (期限当日の収納印有効・期間外取扱不可) (振込方法) ①所定の振込依頼書のご依頼人欄(3カ所)に出願者氏名等を記入し金融機関(郵便局は除く。)の窓口を持参して入学検定料を振り込むこと。ATM(現金自動預入払機)やインターネット等での振込は不可。 ②三井住友銀行の本・支店から振り込む場合の振込手数料は不要。その他の金融機関から振り込む場合の振込手数料は出願者負担です。 ③振り込み後、「入学検定料振込金受付証明書」及び「入学検定料振込金(兼手数料)受取書」に収納印が押印されていることを確認して受け取り、「入学検定料振込金受付証明書」(左半分)を「入学検定料振込金受付証明書貼付台紙」に貼付すること。(収納印がない場合、願書を受理しない。) 「入学検定料振込金(兼手数料)受取書」(右半分・収入印紙貼付のもの)は出願者が保管すること。
* (カ) 受験票送付用封筒	受信者の住所・氏名・郵便番号を明記し、350円切手(速達)を貼付すること。
* (キ) あて名票	合格通知を受ける住所・氏名・郵便番号を明記すること。
(ク) その他	注1. 及び注2. 参照

注1. 次のいずれかであって、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、出願資格(2)に該当する見込みの者は、当該専攻科の「修了見込証明書」及び「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」(様式随意。学位が得られなくなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの)も提出すること。

- ① 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科
- ② 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科
- ③ 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科

注2. ① 現在官公庁、企業等に在職中の者について

- ・ 官公庁・企業等に在職している者が、在籍のまま入学したい場合には、所属長又は代表者の出願承諾書(交付の用紙による。問い合わせのあった者のみに交付)を提出すること。
- ・ 出願承諾書を提出しなかった場合は、入学試験に合格しても退職しなければ入学を許可しない。
- ② 外国人留学生は、在留資格及び在留期間が記載された登録原票記載事項証明書を提出すること。
- ③ 出願者は、出願前に第1志望分野の分野主任と連絡を取ることが望ましい。

(2) 出願方法

- (ア) 出願者は、前記出願書類等を「〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 京都大学薬学研究科教務掛」あて提出又は郵送すること。
- (イ) 郵送による場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に「修士入学願書」と朱書すること。
- (ウ) 出願書類等受領後は、出願事項の変更は認めない。また、入学検定料の払いもどしはしない。

(3) 願書受領期間

平成19年7月24日(火)～7月26日(木)午後5時まで。

(郵送による場合は平成19年7月26日以前の発信局消印のある書留郵便に限り、期限後に到着した場合でも受領する)なお、受験票は、願書受領期間後(8月8日頃)に発送する。

5. 入学者選抜方法及び試験科目・試験日程

【一般コース】

(1) 試験科目

外国語	英語
専門科目	<p>専門科目は、下記のように各群から4問、計16問出題する。 問題の選択形式は下記のとおりとする。 ①4問選択形式：次の2つ以上の群から4問を受験時に選択。 ②2問選択形式：次のI～IV群の中から自由に2問を受験時に選択。 薬系学部出身者は①の形式を必須とする。薬系学部出身者以外の者は①又は②の形式を出願時に選択する。願書受理後、問題選択形式を変更することはできない。</p> <p>(教科は群に含まれる科目内容を、また分野は志望する分野が各群のいずれに含まれるかを示す。)</p>
I群：教科 分野	物理化学・生物物理化学、分析化学、分子構造学、ゲノム情報科学 薬品機能解析学、構造生物薬学、製剤機能解析学、統合ゲノミクス、 システムケモセラピー(創薬計算化学)、分子設計情報、ナノバイオ医薬創成科学 統合薬学教育開発
II群：教科 分野	有機化学、生薬学、天然物化学、医薬品化学 薬品合成化学、薬品分子化学、薬品資源学、精密有機合成化学、ケモゲノミクス システムケモセラピー(制御分子学)
III群：教科 分野	生化学・分子生物学、細胞生物学、微生物学、免疫学 生体分子認識学、分子微生物学、遺伝子薬学、生体情報制御学、生体機能化学、 システムバイオロジー
IV群：教科 分野	薬剤学・薬物動態学、放射化学・臨床分析化学、薬理学・分子薬理学、 医療薬剤学 薬品動態制御学、薬品作用解析学、病態機能分析学、病態情報薬学 生体機能解析学、医療薬剤学、薬理ゲノミクス、創薬神経科学、 臨床薬学教育開拓
口頭試問	第1志望分野に関連する学力評価を含む(約10分)。

(2) 試験日程

①4問選択形式

年月日	試験時間	試験科目	試験会場
平成19年8月23日(木)	9:30~11:30	外国語	薬学研究科
	13:00~16:00	専門科目	講堂
8月24日(金)	9:30~	口頭試問	薬学研究科講義室等

②2問選択形式

年月日	試験時間	試験科目	試験会場
平成19年8月23日(木)	9:30~11:30	外国語	薬学研究科
	13:00~14:30	専門科目	講義室
8月24日(金)	9:30~	口頭試問	薬学研究科講義室等

【臨床薬学コース】

入学者の選抜は、一般コースの4問選択形式と同じ試験で行う。
臨床薬学コースへの配属を希望する者は、臨床薬学コースに配属人員を有する分野の中から第1志望分野を選択する。第1志望分野の臨床薬学コースに配属が認められなかった場合は、一般コースの志願者と同一に取り扱われ、第1志望以下の配属可能な分野に配属される。

6. 合格者発表

平成19年8月31日(金)午後5時頃薬学研究科掲示場に発表するとともに合格者には通知する。
(電話等による照会には応じない。)

7. 入学料及び授業料

入 学 料 282,000円
授 業 料 年額 535,800円

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から改定された新入学料及び新授業料が適用されます。

※ 納付時期等については合格者への入学案内送付(平成20年3月上旬頃)により通知します。

8. 募集要項請求方法

受信者の住所・氏名・郵便番号を明記し200円切手を貼付した標準封筒角型2号(33.2cm×24.0cm)の返信用封筒を同封して、「修士募集要項請求」と朱書き、薬学研究科教務掛へ申し込むこと。

(注) 本研究科の修士課程は、大学院設置基準第4条にいう博士課程の前期2年の課程である。

平成19年6月

京都大学大学院薬学研究科
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
(075) 753-4514 (薬学研究科教務掛)
<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/>

京都大学大学院薬学研究科分野の研究内容

(薬学研究科ホームページ・アドレス：<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/>)

創薬科学専攻

分野及び分野主任	研究内容
薬品合成化学 (TEL：075-753-4553 E-mail：tomioaka@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 富岡 清	1) 未来型触媒的不斉合成反応の設計と開拓 2) 立体化学制御の分子論的基礎の構築と新概念の創出 3) 分子の高次構造制御の有機化学 4) 抗腫瘍性有機化合物の設計・合成と生物有機化学 5) 生物活性天然物の全合成
薬品分子化学 (TEL：075-753-4528 E-mail：takemoto@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 竹本 佳司	1) プロセス研究を指向した環境調和型有機合成反応の開発 2) 金属の特性を利用した高立体選択的な新反応の開拓 3) 生物活性天然有機化合物及びその類縁体の全合成研究 4) 機能性複素環化合物の合成とバイオプローブとしての利用 5) 多点分子間相互作用するホスト分子の設計と生体機能の構築
薬品資源学 (TEL：075-753-4506 E-mail：michihoi@pharm.kyoto-u.ac.jp) 准教授 伊藤 美千穂	1) 二次代謝機能発現に関する研究、特にテルペノイドの生合成機構の解明 2) 生薬ならびに薬用植物に含まれる生理活性成分の研究 3) 薬用植物の実態と多様性に関する調査研究 4) 海外伝統薬物の調査研究
薬品機能解析学 (TEL：075-753-4521 E-mail：katsumim@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 松崎 勝巳	1) 抗菌性ペプチドの作用機構の解明と創薬への展開 2) アルツハイマー病発症機構の解明と予防・治療法の開発 3) 膜タンパク質の構造形成原理の解明 4) 受容体の機能解析と創薬 5) NMRによる生体分子の構造解析
構造生物薬学 (TEL：075-753-4617 E-mail：katohiro@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 加藤 博章	1) X線結晶構造に基づいたABCトランスポーターの構造生理学 2) ベルオキシソーム膜タンパク質の膜局在化メカニズムの構造生物学 3) 精密立体構造に基づく酵素の触媒作用の構造的起源の解明 4) X線結晶構造解析による生物時計の構造と機能の解明
製剤機能解析学 (TEL：075-753-4555 E-mail：handatsr@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 半田 哲郎	1) リポ蛋白質粒子とアポリポ蛋白質の相互作用に関する生物物理化学的研究 2) デイク状HDLの新生に関する生物物理化学的研究 3) 脂質非ラメラ相の構造評価とその機能に関する物理化学的研究 4) レムナント粒子の細胞毒性に関する研究 5) ペプチドによる受容体型キナーゼの機能抑制に関する研究
精密有機合成化学 (TEL：0774-38-3190 E-mail：kawabata@scl.kyoto-u.ac.jp) 教授 川端 猛夫	1) 動的な不斉制御の方法論と不斉反応への利用 2) 有機触媒による精密反応制御 3) 分子のキラリティーに基づく高次構造の構築 4) 分子認識および超分子化学に関する研究 5) 生物活性化合物の創出を指向した新規合成法の開発

生命薬科学専攻

分野及び分野主任	研究内容
生体分子認識学 (TEL: 075-753-4572 E-mail: takeshim@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 竹島 浩	1) 小胞体Ca ²⁺ シグナリングに関する研究 2) 中枢系の新規情報伝達に関する研究 3) 筋細胞の膜構築と機能に関する研究
分子微生物学 (TEL: 075-753-4577 E-mail: watanabe@pharm.kyoto-u.ac.jp) 准教授 渡部 好彦	1) インターフェロン産生と作用機序(抗ウイルス機構)の解析 2) インターフェロンに対する多面的な細胞応答機序の解析 3) インターフェロンと各種疾患との相関の探索 4) インターフェロン遺伝子治療の基礎的研究
生体機能解析学 (TEL: 075-753-4541 E-mail: skaneko@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 金子 周司	1) イオンチャネルなどの膜輸送タンパク質を対象とする創薬, 機能解析, 薬効解析 安全性評価, 病因論, ゲノム科学に関する研究 2) 痛みの物質的基盤および鎮痛薬の作用機序に関する研究 3) 薬物依存や薬物有害事象の分子機構に関する研究 4) 生命科学用語オントロジーの研究
遺伝子薬学 (TEL: 075-753-4540 E-mail: itohnobu@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 伊藤 信行	1) 細胞増殖因子(FGF)の脂肪組織、骨・軟骨、脳形成などにおける役割の解明 2) 遺伝子探索法による新規細胞増殖・分化因子遺伝子の探索と構造解析 3) 遺伝子機能抑制小型魚類の作成による新規遺伝子の個体レベルでの機能解析 4) 遺伝子欠損マウスの作成による新規遺伝子の機能解析とその分子機構の解明 5) 組織形成、組織修復の分子機構の解明と再生医学への応用
生体情報制御学 (TEL: 075-753-4527 E-mail: kazunaka@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 中山 和久	1) ゴルジ体を中心としたタンパク質の細胞内輸送および局在化機構の解明 2) プロスタグランジン受容体による局所ホメオスタシスの維持機構の解明 3) マスト細胞と局所環境のゲノムネットワーク研究 4) 7回膜貫通型受容体(GPCR)によるGタンパク質共役機構の解析
生体機能化学 (TEL: 0774-38-3210 E-mail: futaki@scl.kyoto-u.ac.jp) 教授 二木 史朗	1) 細胞機能・遺伝子を制御する生理活性蛋白質の創製 2) 細胞膜透過ペプチドベクターの開発とメカニズム 3) 亜鉛フィンガー型転写因子のDNA認識と機能解析 4) 細胞内ターゲティング(核・ミトコンドリアなど)の化学と分子設計 5) 環境応答型機能性ペプチドのデザイン

医療薬科学専攻

分野及び分野主任	研究内容
薬品動態制御学 (TEL: 075-753-4525 E-mail: hashidam@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 橋田 充	1) 医薬品の体内動態の分子機構の解明と動態モデルに基づく数理学的解析 2) 治療の最適化を目的とする薬物の体内動態制御法、製剤設計法の開発 3) タンパク質医薬品の臓器、細胞特異的ターゲティング技術の開発 4) 遺伝子医薬品を対象とするドラッグデリバリーシステムの開発 5) 薬物の経粘膜・経皮吸収の機構解析とコンピュータ吸収予測法の開発
薬品作用解析学 (TEL: 075-753-4550 E-mail: aakaike@pharm.kyoto-u.ac.jp) 教授 赤池 昭紀	1) 中枢神経作用薬の薬理学を主要研究課題とする 2) 抗痲呆薬、難治性神経疾患治療および網膜変性疾患治療薬の薬理作用の解析 3) 神経変性疾患におけるニューロン死の機序の解析とその保護因子の探索 4) 胎仔血清に由来する神経保護化合物セロフェンド酸の作用機序の解析 5) ニューロン生存と神経再生を制御する細胞内機能分子に関する研究

病態機能分析学

(TEL: 075-753-4556 E-mail: hsaji@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 佐治英郎

- 1) 脳疾患、心疾患、がんでの生体機能変化をインビボ解析する分子イメージング法の開発とそれに基づく病態の仕組みの解明及び薬物作用の解明に関する研究
 - 2) 病態の特性に基づく標的部位選択的移行、選択的活性化をおこす機能性画像診断・治療薬剤の創薬研究
 - 3) 生理活性金属化合物の生体作用の解明と治療への応用に関する研究
-

病態情報薬学

(TEL: 075-753-4615 E-mail: takakura@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 高倉喜信

- 1) 遺伝子治療医薬品の体内動態支配因子及び細胞取り込み機構の解明
 - 2) 免疫応答制御を目指したDNAワクチン及びタンパクワクチンの開発
 - 3) RNA干渉を利用した遺伝子治療実現のための核酸医薬品のデザインとデリバリー
 - 4) 極性を持つ上皮・内皮細胞への遺伝子導入による生理活性タンパクの分泌方向性制御
 - 5) 高分子薬物の体内動態及び統計処理の解析法の開発とその薬物治療最適化への応用
-

医療薬剤学

(TEL: 075-751-3577 E-mail: inui@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

教授 乾 賢一

- 1) 医薬品の体内動態と薬効・毒性に関する基礎と臨床
 - 2) 薬物トランスポータの分子・細胞生物学的解析と臨床応用に関する研究
 - 3) 病態時の薬物動態・薬効の変動要因解析と患者個別投与設計に関する研究
 - 4) 薬物相互作用のin vitro予測・評価系の開発に関する研究
 - 5) 薬物トランスポータ・代謝酵素の遺伝的多型とテーラーメイド医療
-

医薬創成情報科学専攻

分野及び分野主任

研究内容

薬理ゲノミクス/ゲノム創薬科学

(TEL: 075-753-4523 E-mail: gtsuji@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 辻本 豪三

- 1) ゲノム包括的解析による新規創薬標的の発見とターゲットバリデーション
 - 2) ゲノムインフォマティクスによるin silico創薬研究
 - 3) 生体内オーファンG蛋白質共役型受容体のリガント探索
 - 4) 遺伝子改変動物、病態動物を用いた遺伝子の個体レベルの機能解析
 - 5) 患者個人の遺伝子多型情報に基づいた至適臨床薬物療法の実現
-

ケモゲノミクス/薬品有機製造学

(TEL: 075-753-4551 E-mail: nfuji@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 藤井 信孝

- 1) ゲノム/プロテオーム情報収斂型創薬研究
 - 2) 7回膜貫通G-蛋白共役型受容体の有機化学・創薬化学研究
 - 3) ペプチド類縁体をプローブとするケミカルバイオロジー研究
 - 4) 抗癌剤、抗ウイルス剤、抗痴呆剤の分子設計・合成研究
 - 5) 新規複素環骨格構築法の開発と創薬テンプレートへの応用
-

システムバイオロジー

(TEL: 075-753-9552 E-mail: okamura@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 岡村 均

- 1) 哺乳類生体リズムにおける時間の生成と調律の仕組みを、細胞、組織、生体という多層レベルで解明する。
 - 2) 哺乳類時計遺伝子の同定とリズムの分子機構の研究
 - 3) 多層にわたる時間の分子ネットワークシステムの研究
 - 4) リガンド、受容体の解析による時間を調律する創薬研究
-

システムケモセラピー (制御分子学)

(TEL: 075-753-4524 E-mail: hkakeya@pharm.kyoto-u.ac.jp)

教授 掛谷 秀昭

- 1) 多因子疾患 (癌、神経変性疾患、免疫疾患、糖尿病等) に対する次世代化学療法の開発を指向した先端的ケミカルバイオロジー研究
 - 2) 創薬リード化合物の開拓を指向した新規生理活性物質の天然物化学・天然物薬学
 - 3) ケモインフォマティクス、バイオインフォマティクスを活用したシステムケモセラピー研究
 - 4) 有用物質生産・創製のための遺伝子工学的研究 (コンビナトリアル生合成研究等)
-

システムケモセラピー（創薬計算化学）

(TEL : 075-753-9273 E-mail : kkitaura@pharm.kyoto-u.ac.jp)

- 教授 北浦 和夫
- 1) 生体高分子のための量子化学計算法の開発
 - 2) 生体高分子の構造と機能の理論的研究
 - 3) 蛋白質と低分子の分子間相互作用の理論解析
 - 4) 計算化学手法によるドラッグデザイン
-

統合ゲノミクス

(TEL : 0774-38-3270 E-mail : kanehisalab@kuicr.kyoto-u.ac.jp)

- 教授 金久 實
- 1) バイオ情報を統合するバイオインフォマティクス技術の開発研究
 - 2) バイオインフォマティクスに基づく創薬ターゲット探索とバリデーション
 - 3) 薬物・化学物質と生体システムとの相互作用予測・反応予測
 - 4) 創薬・医療のための統合データベース開発
-

分子設計情報

(TEL : 0774-38-3023 E-mail : mami@kuicr.kyoto-u.ac.jp)

- 教授 馬見塚 拓
- 1) バイオインフォマティクス：ゲノムワイドなデータからの情報処理技術による知見発見
 - 2) 先端情報科学技術の創出による生命情報解析・創薬技術の高度化
 - 3) 薬物投与データからの生体分子間ネットワーク推定による創薬インフォマティクス
 - 4) 生体分子の生命機構の理解に向けた情報抽出技術の高精度化
 - 5) システムズバイオロジー：計算機による模倣からの生命現象の解析・理解
-

統合薬学フロンティア教育センター

分野及び分野主任

研究内容

統合薬学教育開発

(TEL : 075-753-4559 E-mail : okuno@pharm.kyoto-u.ac.jp)

- 准教授 奥野 恭史
- 1) ケミカルゲノミクス情報に基づく新規医薬品探索理論の研究
 - 2) 薬物作用メカニズム解明のための遺伝子ネットワーク解析法の開発
-

臨床薬学教育開拓

(TEL : 075-753-9254 E-mail : yano@pharm.kyoto-u.ac.jp)

- 准教授 矢野 義孝
- 1) 臨床薬学数理統計モデリング&シミュレーションに関する研究
 - 2) 薬物動態/薬効の速度論的解析法に関する研究
-

寄附講座

分野及び分野主任

研究内容

創薬神経科学

(TEL : 075-753-9270 E-mail : hsugimot@pharm.kyoto-u.ac.jp)

- 副講座教授 杉本 八郎
- 1) アルツハイマー病に代表される神経変性疾患の病因解明に基づく創薬研究
 - 2) 生体内物質や天然物の中から生理活性物質を探索し創薬のシードを発見
 - 3) ゲノムや神経再生医療技術を駆使した創薬アプローチに関する研究
 - 4) コリンエステラーゼ阻害薬の神経細胞保護作用のメカニズムの解明に基づく創薬研究
-

ナノバイオ医薬創成科学

(TEL : 075-753-9556 E-mail : kazushmz@pharm.kyoto-u.ac.jp)

- 副講座教授 清水 一治
- 1) 最先端工学技術とバイオ技術を融合したナノレベル創薬研究
 - 2) 先端ナノバイオ工学技術DNAチップによるがん等の臨床検体の分析
 - 3) 病態関連遺伝子やタンパク質情報を活用したテーラーメイド医療
 - 4) 分子標的薬のターゲット探索、薬理ゲノミクス研究
-

臨床薬学コースについての説明

京都大学大学院薬学研究科では、修士課程に一般コースに加えて臨床薬学コースを設置しています。本コースは、臨床薬学に関する高度な専門的知識と技術を持った薬剤師の育成をめざしたもので、カリキュラムは研究を基盤とした薬学専門教育と6ヶ月の薬剤師実務実習を含む臨床薬学教育とからなります。平成20年度の募集人員は5名で、入学者の選抜は、一般の修士課程選抜試験と同一の方法で行われます。入学後は一般コースの修士課程の学生と同じように、創薬科学専攻、生命薬科学専攻、医療薬科学専攻、医薬創成情報科学専攻のいずれかの分野に配属され、薬学専門教育についてはその分野の指導教員の指導を受けます。また、臨床薬学教育は本学医学部附属病院薬剤部他で行われますが、履修にあたっては薬剤師国家試験合格が必須条件となります。なお、修士課程修了後は博士後期課程への進学資格が与えられます。臨床薬学および高度な薬剤師職能に強い関心と使命感を持つ学生の入学を強く期待します。